年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　芸術　　科目 音楽Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅱ　　単位数：2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

教科担当者：（１組～６組：齋藤賢治）

使用教科書：（ 大修館　音楽Ⅱ　ｔｕｔｔｉ+　　）

教科　芸術　　の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、表現するための技術を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫知ったり芸術のよさや素晴らしさを深く味わうことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと共に、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊か情操を培う

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。また、音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素などの関連を知覚し、資格したことと感受したこととのかかわりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしてゆく。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・校歌を歌おう。 ・詩のイメージを大切にして「故郷」を歌おう。 ・西洋音楽史①～②	・「練馬高等学校校歌」や「故郷」の旋律および歌詞を覚え、ふさわしい発声を身に付けるとともに、工夫した音楽表現で歌唱する。 ・古代や中世の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の起源や音楽の変遷、音楽の様式な	○			○	①歌詞とその意味を理解して歌える。 ②旋律とリズムの特徴を活かして表現しようとしている。 ③積極的に学習に取り組み校歌を覚えようとしている。	○	○	○	6
	・ウクレレに親しもう。 ・西洋音楽史③	・ウクレレについての基礎知識を学習し、簡単なコードで弾き語りができるようにする。 ・ルネサンスやバロックの音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理 論、楽器の音色などを理解しながら鑑賞する。		○		○	①コードの成り立ちと、弦を押さえるポジションを理解して演奏できる。 ②楽器の音色や和音の進行を知覚し、工夫して表現できる。 ③主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査(なし)										
	・ドイツリートに親しもう。 ・自分なりのイメージをもってカンツォーネやドイツリートを歌おう。	・「野ばら」の旋律を覚え、作詞作曲者について理解を深め、ベルカント唱法や正しいドイツ語の発音、を身に付ける。	○			○	①音楽を形づくっている要素について音楽における働きと関わらせて理解している。 ②音楽の諸要素や要素同士の関連を知覚、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えている。 ③主体的協働的に知識を習得しようとしている。	○	○	○	10
	・総合芸術の魅力を感じ取ろう①～② ・西洋音楽史③～⑤	・バロックや古典派の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、作曲家の特徴などを理解しながら鑑賞する。			○	○	①音楽を形づくっている要素について音楽における働きと関わらせて理解している。 ②音楽の諸要素や要素同士の関連を知覚、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えている。 ③主体的協働的に知識を習得しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査(なし)										
2学期	・１年次に引き続きギターに触れ、簡単なコードを覚え、弾き語りを楽しもう。 ・西洋音楽史⑥～⑦	・曲の旋律および歌詞について知るとともに、簡単なコードを用いた弾き歌いをする技能を身に付ける。 ・ロマン派の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、作曲家の特徴などを理解しながら鑑賞する。	○	○		○	①音楽を形づくっている要素について音楽における働きと関わらせて理解している。 ②音楽の諸要素や要素同士の関連を知覚、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えている。 ③主体的協働的に表現鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	・応用的なコードを用いて弾き歌いをしよう。 ・西洋音楽史⑧～⑨ ・Chrome music ｌabを用いて簡単な旋律を作曲しよう。	・曲の旋律および歌詞について知るとも に、応用的なコードを用いた弾き歌いをする技能を身に付ける。 ・近代、現代の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、作曲家の特徴などを理解しながら鑑賞する。 ・Song Makerを使用して簡単な旋律を作曲し、発表する	○	○	○	○	①音楽を形づくっている要素について音楽における働きと関わらせて理解している。 ②音楽の諸要素や要素同士の関連を知覚、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えている。 ③主体的協働的に表現鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
3学期	・自由音楽会をつくりあげよう ・日本音楽史①～④	・自由音楽会の企画と練習計画の作成、および計画に従って練習をする。。 ・日本音楽について、時代や社会背景を理解し、西洋音楽との違いを知覚・感受しなが ら、平安時代～江戸時代の音楽を鑑賞する。	○	○	○	○	①音楽を形づくっている要素について音楽における働きと関わらせて理解している。 ②音楽の諸要素や要素同士の関連を知覚、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えている。 ③主体的協働的に表現鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	・自由音楽会の発表と総括 ・日本音楽史④～⑦	・自由音楽会の発表を行い、お互いに鑑賞もして、様々な音楽体験をする。 ・日本音楽について、時代や社会背景を理解し、西洋音楽との違いを知覚・感受しなが ら、明治時代～平成以降の音楽を鑑賞する。	○	○	○	○	①音楽を形づくっている要素について音楽における働きと関わらせて理解している。 ②音楽の諸要素や要素同士の関連を知覚、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えている。 ③主体的協働的に表現鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8 合計 70